

福岡観世会 第二回

令和八年

能

玉

たまかづら

鬘

今村嘉太郎

狂言

樋の酒

野村 万禄

能

春日龍神

かすがりゆうじん

森本 哲郎

龍女之舞



とき／令和8年 1月24日(土) 午後1時始(12時開場)

ところ／大濠公園能楽堂

入場券／単券(当日券)▶ 指定席…10,000円・自由席…8,000円

※前回繰り券をご購入のお客様は、第一回の指定席券・自由席券を第二回の自由席券としてご利用いただけます。

発売所／大濠公園能楽堂 ☎092-715-2155

仕 舞

松 班 虫クセ 菊本 美貴
女 今村 宮子

山松難 波風 坂口 貴信
姥風 鷹尾 維教
山口剛一郎

地謡

多島法子
長宗 敦子
菊本 澄代
木月 晶子
井内 政徳
久保誠一郎
森本 哲郎
今村 哲朗

玉 髷

今村嘉太郎

喜多 雅人 大鼓 白坂 信行
吉住 講 小鼓 飯富 章宏 笛 森田 光次

後見 山口剛一郎 地謡
大西 礼久 今村 哲朗

井内 政徳 今村 一夫
山本 麗晃 鷹尾 章弘
久田 勘吉郎 鷹尾 維教
坂口 貴信

樋の酒

狂言

野村 万緑 杉山 俊広
吉良 博靖

後見 雪野 洸太

実 田 盛 観世 清和
融 川 坂口 信男
大西 礼久

地謡

久田 勘吉郎
鷹尾 維教
今村 嘉伸
今村 一夫

△休憩 十分△

能

春日龍神

龍女之舞

前ツレ 久保誠一郎
龍女 木月 晶子
森本 哲郎

佐々木 秀 大鼓 白坂 保行 太鼓 吉谷 潔
福王 知登 小鼓 幸 正佳 笛 相原 一彦
矢野 昌平

後見 坂口 貴信 地謡
坂口 信男 小倉要二郎
今村 哲朗 鷹尾 章弘
山口剛一郎 多島島利之
今村 一夫 山本 章弘
観世三郎太

終演予定午後五時頃

玉 髷

旅の僧が初瀬の長谷観音へ参詣しようとして初瀬川に来ると、底の浅い山川の岩間づたいに小舟に竿さしてくる女性がいて、僧とともに長谷寺に参り、有名な二本杉に案内する。女は僧に「源氏物語」の玉髷の話をして聞かせる。幼い玉髷は、母の夕顔の死後九州に下つて乳母に育てられたが、成人後九州を脱出し、この二本杉で母の侍女の右近に出会い、右近が当時仕えていた光源氏に引き取られたと話して申いを頼むが、やがて自分こそ玉髷の霊だとほめかして消え失せる（中入）。僧が申いをする、玉髷の霊が髪を乱した姿で現れ、男たちとの間の恋の迷いのせいか、死後の今も妄執の苦しみから抜け出せない身なのだとし打ち明けるが、やがて昔のことを懺悔して妄執を晴らし成仏する。

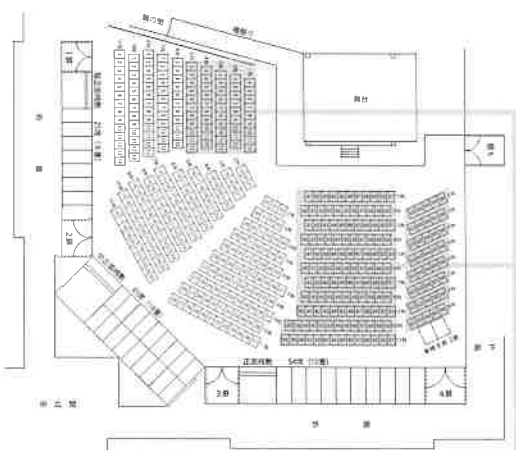
樋の酒

主人は二人の召し使いを呼び、太郎冠者には米蔵の番、次郎冠者には酒蔵の番をするように言いつけて出かけた。二人はそれぞれ蔵に入り、窓越しに話をするなどしていたが、しばらくすると次郎冠者が蔵の酒を飲み始める。うらやましがる太郎冠者にもなんとか酒を飲ませたいと考えるが……。

春日龍神 龍女之舞

鎌倉時代。天竺への旅を決意した明恵上人は、崇敬する春日大社へと暇乞いに参詣する。そこへ現れた、神職の尉（老人）と若い宮守。神職たちは、明恵が春日明神からの信頼厚い人物であること、釈迦滅後の今においては春日の地こそが聖蹟・靈鷲山にも等しい仏法の聖地であることを明かし、出発を思い留まるよう諫める。その言葉を受けて旅の中止を決意した明恵へ、神職は「春日の三笠山に釈迦一生の物語を映し出そう」と告げると、自分こそ春日神に仕える時風秀行の化身だと明かし、姿を消してしまう。やがて、三笠山は金色の光を放ち、仏の説法の間が現出しはじめた。春日の里に集結し、法会の座を莊厳する龍神や龍女。この奇蹟の前に、遂に明恵は旅の中止を宣言するのだった。

『春日龍神』の通常の演出では、前場には神職の尉、後場には龍神が、それぞれ一人しか登場しません。しかし今回は「龍女之舞」の小書（特別演出）により、前場に若い宮守、後場に龍女が登場するとともに、後場の龍神は老龍王の姿となります。華やかで莊重な舞台をお楽しみください。



指定席（その他は機数席を含めて自由席となります。）